

No.3：国際旅行展示会 ～「北関東」で3年ぶり出展～（令和4年9月27日）

8月18日から21日にかけて、第36回香港国際旅行展示会（ITE Hong Kong 2022）が開催され、栃木県は茨城県とともに「北関東」として出展した。前回の出展は新型コロナウイルス感染症が流行する前の2019年であるため、実に3年ぶりの出展となった。

今回の ITE には、前年比 77.8%増の 32 か国および地域が出展した。多くは国単位で大規模なブースを構えていた



【栃木、茨城両県の観光情報セミナーの様子】

ことに対し、日本は小規模ながらも各県・地域がそれぞれの趣向を凝らしてブースを構えていたことが対照的であった。

18日から19日の午後2時までは、業界関係者のみの入場で落ち着いた雰囲気だったが、同時刻に一般公開されると、北関東ブースはたちまち多くの人であふれかえった。

また、20日と21日に茨城、栃木両県の観光情報セミナーを実施したが、両日とも立ち見が出るほど盛況であった。北関東ブースに限らず、どの県・地域も同様であり、日本の人気の高さを身をもって実感したところである。

北関東ブースにはさまざまなパンフレットを用意したが、中高年層や女性を中心に好評だったのが、あしかがフラワーパーク（足利市）の藤の花や日光いろは坂の紅葉が表紙のパンフレットである。

また、ドライブマップも人気だった。理由としては、自分たちで行きたい場所を決めて車で移動するなど、個人旅行を楽しむ香港人が多いことが挙げられる。何度も日本へ旅行している香港人には、ツアー旅行よりも個人旅行の方が人気なのだ。

そしてついに岸田文雄首相が、10月11日から入国者数の上限を撤廃するとともに、個人旅行客を受け入れ、ビザ取得も免除すると表明した。

さらに香港政府も、海外からの入境者に課している政府指定ホテルでの隔離を今月26日から全廃すると発表した（ただし、入境後3日間はレストランやバー等に入ることができない）。

特に香港政府の発表直後は、航空会社のウェブサイトへのアクセスが殺到してつながりにくくなったり、香港－東京間の往復航空券の価格が跳ね上がったりするなど、日本への旅行の機運が一気に盛り上がってきたところである。こうした中、旅行先として栃木県を選んでもらえるよう、引き続き栃木県をPRしていきたい。

（県香港事務所長 如木啓之）